

プレスリリース

「妖しのインテリア in 大阪」
 2013年11月30日（土）～ 12月8日（日）
 FREDERIQUE MORREL とBOKJAの作品を一同に発表



トーヨーキッチン&リビング株式会社（代表取締役社長 渡辺孝雄）は、2013年11月30日（土）-12月8日（日）の9日間、大阪センタービル1Fにて展覧会「妖しのインテリア in 大阪」を開催します。

「妖しのインテリア in 大阪」では、フランスのFREDERIQUE MORREL（フレデリック・モレル）とレバノンのBOKJA（ボクジャ）、作家2組による作品を今年のミラノサローネで発表された新作も含め、約50点を一同に展示します。

近年、心の内面や、外へのメッセージを、ストレートに表現する作家が世界で台頭してきました。ミニマルからデコラティブに移行しつつあるインテリアトレンドのなか、常識や合議とは無縁な、作家個人の魂が込められた作品は、面妖にさえ感じる美しさを放ちます。作品から受ける鮮烈な印象や個性は、インテリアの世界に一つの方向性を示唆しています。トーヨーキッチンスタイルのディレクションを行なう代表取締役社長 渡辺孝雄は、この2組の作家と親交を深める中で、今年5月に東京 スパイラルガーデンで展覧会を開催し、3日間の開催期間で3000名を越える来場数を記録しました。今回、満を持して大阪での開催となります。

5月の展覧会では初夏を彷彿とさせるディスプレイを展開しましたが、今回は冬をイメージしたインスタレーションの中に、家具、インテリアオブジェの枠を超えた2組の作家の作品を展示し、世界観を表現します。あわせて、トーヨーキッチン&リビングの新製品のオリジナルキッチン「イノ イヴァロ」も共に展示します。

「妖しのインテリア in 大阪」

日程：2013年11月30日（土）～12月8日（日）10:00-19:00 レセプション：11月30日（土） 18:00-

会場：大阪センタービル1F 大阪市中央区久太郎町 4-1-3 最寄り駅 地下鉄本町駅14号出口直結

主催：トーヨーキッチン&リビング株式会社

主な展示内容：家具、インテリアオブジェ、キッチン、照明、フラワーベース等

* 「妖しのインテリア」特設サイト：<http://www.toyokitchen.co.jp/ayashinointerior/>

戦後「モノを持つこと」が豊かさの象徴であった私たち日本人。

効率的で大量に生産される製品を良しとし、生活水準を高めてきました。

それは住宅やそのインテリアも同じで、一般的とされる常識や、合議的な最大公約数を基本として発展しました。

結果、豊かになったはずの現代も画一的な製品から抜け出せず、「どこかで見たような」空間を大量に生み出すことになりました。

今回ご紹介するアーティスト達は、常識や合議とは別の世界で「自分の世界」を包み隠さず表現します。

心の内面や、外へのメッセージをストレートに、そして色彩豊かに発信しています。

大量に生産されるモノには無い、アーティスト個人の魂の叫びが、妖艶な魅力となり、われわれに語りかけてくれます。

ひとつひとつから溢れ出る生命感、無機質に慣れてしまった私たちには面妖に映るかもしれません。

しかし、この艶やかな妖しさこそ、これからの豊かさのヒントになると考えています。

トーヨーキッチン&リビング株式会社 代表取締役社長 渡辺孝雄

プレスリリース

インスタレーションを一新

展示作品とともに好評をいただいた、妖しのインテリアのインスタレーション。別の世界に足を踏み入れたかのような空間は、多くのメディアにて取り上げられました。今回、世界観はそのままに全く新しいインスタレーションをお届けします。

東京表参道「スパイラルガーデン」で開催された展覧会の様子

詳細は下記特設サイトからご覧頂くことができます。

<http://www.toyokitchen.co.jp/ayashinointerior/>



©Nacása & Partners



©Nacása & Partners



©Nacása & Partners



上： 会場入り口 右：ポクジャの展示は、生花で溢れるインスタレーション

下2点： フレデリックモレルの展示は、初夏の森をイメージしたインスタレーション

プレスリリース



FREDERIQUE MORREL (フレデリック・モレル)

パリでスタートしたアバンギャルドなインテリアブランド。アーティストであるフレデリックは、亡くなった祖母が得意だったニードルポイント刺繍*への思いをきっかけに創作活動を始め、アダムとイヴ、エデンの園、失楽園やノアの方舟といった神話的な要素にインスピレーションを受け、スピリチュアルな美意識で作品を発表し続けています。

*ニードルポイント刺繍：キャンバス生地全体にウールの糸で刺繍を施す技法。仕上がりはまるで織物のような印象。ウール糸を使用することから、タペストリーとして装飾に用いられるだけでなく、室内の温度調整の役割も果たす実用性も兼ね備えています。



BOKJA (ボクジャ)

地中海に面するレバノンの首都、バイルートに拠点を置くHoda Baroudi (ホダ・バロウディ) と、Maria Hibri (マリア・ヒブリ) による才能豊かなデザインデュオ。2000年に創設され、キリムなどの伝統的工芸に尊敬と情熱を注いできました。叙情的な色づかいが美しく、ハンドメイドならではの、クラフトマンシップを感じる、高い芸術性を持った作品を生み出しています。

新製品 システムキッチン「IVALO (イヴァロ)」を同時に展示発表



INO IVALO [イノ イヴァロ] は、北欧フィンランドの村「イヴァロ」の空に舞う幻想的なオーロラの輝きをイメージしました。北極圏を楕円状に囲んだオーロラベルト（オーロラが最も観測されやすい一帯）に属するラップランド地方のイヴァロ村は、息をのむほどに美しいオーロラが現れる、幽玄な自然の色彩の魅力に溢れています。

INO IVALO は、その神秘的なオーロラのように、時とともに様々な表情を見せてくれる輝きを纏ったキッチンです。ピンクスピネル、銅をはじめ全10色のメタリックカラーで展開します。

読者問い合わせ先 (クレジット記載)

トーヨーキッチン&リビング株式会社 tel 06-6241-1040

写真素材のご要望等、掲載・取材に関するお問合せ先

トーヨーキッチン&リビング PR : HOW INC.

小池美紀 miki@how-pr.co.jp Tel:03-5414-6405, Fax:03-5414-6406

Frederique Morrel フレデリック・モレル



Dr.Zhivago ドクトル ジバゴ

このデザインは、馬自身が参加した数え切れないほど多くの狩りを表しています。自分の過去を悔やみ、その姿を植物や牧草に変え始めました。小さな動物たちには隠れ家となり、ウサギやキツネのように、狩られる動物たちの救世主となったのです。不運にも命を落とした動物は、馬の頭に乗ったフェニックスによって生まれ変わる事を許されます。

サイズ：W2400/D600/H2000mm
6,619,200円



Audrey オードリー

ゴーストのように様々な家の壁から飛び出してくる鹿の頭。描かれている植物や動物のデザインは、彼らが過ごした生活、時にはその記憶だけを表しています。

サイズ：W450/D400/H700mm
330,750円



Vermeer フェルメール

ブルー：冬のスピリットです。青は冷たさを表現し、雪や結晶、霜が描かれています。しかし、太陽もあり、冬が終われば輝きを取り戻し、すべてがあたらしく生まれ変わることを思い出させます。

イエロー・グリーン：暖かく、生き生きとしたトーンで、夏を表しています。干し草と小麦の収穫が見え、労働の報酬として女の子が、オープンから焼きたてのラウンドパンを提供しています。

サイズ：W700/D400/H950mm
1,172,850円

BOKJA ボクジャ



Peacock ピーコック

孔雀が羽を広げて求愛している姿をイメージさせるソファです。その美しい見た目とは裏腹に、サソリや毒蛇を食べることで知られ、邪気を払う鳥として信仰の対象にもなっています。このソファにも、そんな邪な空気から家族を守ってくれる、秘めたパワーが伝わってきます。

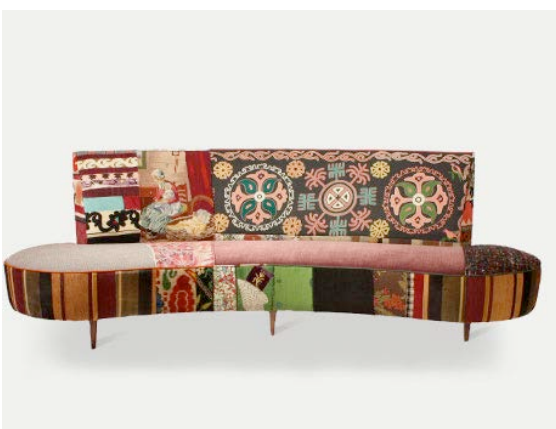
サイズ：W1150/D700/H920/SH500mm
661,500円（税込）



Ursula ウルスラ アームチェア

1人がけのゆったりとしたアームチェア。膨らんだりくびれたりするフォルム、しなやかな曲線を描く脚など、鮮やかな花のモチーフをまとった、女性らしい作品。ウルスラは女性の名前としても広く使われています。

W1100/D700/H850 (SH450) mm
627,900円（税込）



Bean Sofa ビーンソファ

そら豆のようにカーブした、ゆったり感の味わえるソファ。家族や愛する人と自然と寄り添うことができ、会話まで弾みそうな明るい雰囲気をもっています。食物を題材にすることで、使うひとの恵みある食卓への祈りが込められています

W2500/D1000/H850/SH450mm
2,131,500円（税込）